

プラチナ未来スクール アクティビティレポート

このレポートは、プログラム終了ごとに、各教室の様子を保護者の皆様にお届けするものです。ご一読いただけると幸いです。

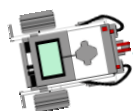
プラチナ未来スクール ロボット教室がたくさんのお想いと希望を持って、トライアルスタートしてから約2年。少しずつ増えていく教室を回りながら、行くたびに成長をしているみなさんにお会いするのがとても楽しみです。

同じコンセプトで開校した教室ですが、各教室、クラスごとに少しずつ色が違います。その教室に関わる、子ども、学生、大人、シニアのみなさん、そして風土…これらが織りなすハーモニーが様々な個性を醸し出すからだと思います。それぞれの教室を訪ねる度に、「みんな違って、みんな良い」をまさに体感しています。

各教室、能動的な学びの中で、子どもと学生、大人そしてシニアが各々の立場や発想を持って、切磋琢磨することによりイノベーションの種が芽生えたり、主体性を重んじ対話を重ねる深い学びで、時に起きるトラブルやハプニングを解決したりするシーンにみなさんの成長を見てきました。

来年もいくつか教室が開校する予定で、仲間が少しずつ増えていきます。いつか実施したい「プラチナ未来スクール 全国大会」にもワクワクと想いを馳せています。

みなさんもうぞ良いお年をお迎えください。来年も皆さんの笑顔と成長にお会いできるのを楽しみにしています。



プラチナ構想ネットワーク 事務局長代行 犬山 えみ
(プラチナ未来スクール担当)

● 教室だより

【長崎大学教室】

火曜日クラスではトレースレーサーを製作しました。「やってみなければわからない！」と自分のアイデアを検証しながら進めていく彼らの熱意に、講師たちも舌を巻いています。

水曜日クラスではアリの動きに似せたアリロボを作り、超音波センサとカラーセンサを駆使して「仕事率」を競いました。2年目ともなると、組み立てやプログラムが高度になります。生徒の創意工夫や学び合いの姿を見るたびに、著しい成長を感じるクラスです。



【みなとみらい教室】

この春から通い始めたばかりの子どもたちですが、あっという間にトレースレーサーを組み立ててプログラミングに取り掛かりました。どんどん知識と技術を吸収している様子がかがえます。次回以降も楽しみです！

2年目の生徒は、フォークリフトを製作しました。カラーセンサの読み取りに苦戦していましたが、しっかり理解して、乱数も学びました。徐々に高度になる内容でも、楽しみながら課題解決に取り組んでいます。



【柏教室】

いつも賑やかでロボットのことを夢中で話して、夢中で手を動かしています。競技会が近くなると、教室を縦横無尽に子どもとロボットが駆けずり回ります。今回の競技会では、チューニングに失敗した生徒がいたようですが、だからこそ多くのことを学んだようです。成功を喜び、失敗から学ぶことをたくさん経験する場になっています。

【横浜国立大学教室】

9月に開校したばかりの横浜国立大学教室では、スゴロクロボットを製作しました。初回は少し緊張した面持ちでしたが、次第に教室にも慣れ、今では意気揚々とロボット教室に通ってくれています。初めての競技会にもかかわらず、躯体の工夫も見られ、25秒という好タイムが出ました！ 今後に期待しています。

● 1月29日取手教室開校予定

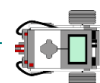
取手市のご協力のもと、今年3月30日にロボット教室の1日体験会を実施しました。応募時にすでに定員を大きく上回り、プログラミング教育が注目されていることを改めて感じます。

体験会当日は取手市長の藤井市長にご挨拶をいただき、和やかな雰囲気での始まりでした。会が進むにつれ、初めてプログラミングに触れるお子さまやアクティブラーニングに興味のある保護者、ロボット教室に関心のあるシニアや自治体関係者の方など、総勢200名近い参加者の積極的な姿勢に、会場は熱を帯び、大盛況となりました。

そして、いよいよ2019年1月29日に、ロボット教室 取手教室を開校いたします！エネルギーに満ちた取手教室が誕生しそうです！！



● 講師だより



米倉 常男 先生

(三菱電機OB/みなとみらい教室)

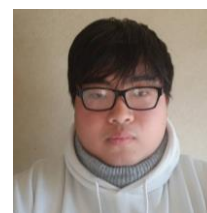
個性あふれる子どもたちとコミュニケーションをとる中で、互いに刺激し合っています。子どもたちの考え方は私たちと大きく違うこともあり、私自身の今後の考え方にも参考になります。もともと素晴らしい力を持った子どもたちですが、これからの彼らに期待し、今まで以上にサポートしていきたいと思っています。



横尾 賢 先生

(長崎大学大学生/長崎大学教室)

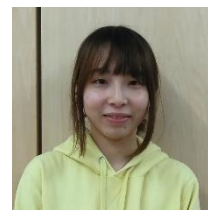
積極的な子どもや消極的な子どもから、それぞれのやる気を引き出すことが難しいと感じることもありましたが、子どもたちと触れ合い、一緒に問題を考える時間をもつことで充実した学びに繋がりました。これからも、子どもたちにとってより良いロボット教室となるようにサポートしていきたいと思っています。



松野 明香里 先生

(横浜国立大学大学生/横浜国立大学教室)

お子さまがお持ちである豊かな創造力の更なる発展を目指し、シニア・学生講師が丸となってサポートする教室運営を心がけております。授業ではお子さま自身で試行錯誤していただくプロセスを大切に、また失敗は様々な事柄へ応用できる重要な糧である事など、日々の生活へ実りのある指導ができるよう、講師一同これからも精一杯努力いたします。



林 眞美子 先生

(学習塾講師経験者/柏教室)

プログラミング学習はもちろんですが、子どもたちはロボットの部品をケースの定められた場所にきちんと戻し、ものを大切にすることが重要だということも学んでいます。また、学校ではまだ習っていない内容にも臆せず、むしろ楽しんで次々と挑戦しています。子どもたちの積極的な姿勢にいつも感心しています。これからも温かく見守ってきたいと思います。



☑主催

プラチナ構想ネットワーク

☑後援法人会員

三菱重工業株式会社

☑主催協力

長崎大学 地方創生推進本部

☑後援自治体会員

長崎市/横浜市/柏市

☑協力

長崎大学 ロボットサークル/

横浜国立大学 校友会・Robo+ism /

三菱みなとみらい技術館/ネクスファ

アクティビティレポートいかがでしたでしょうか。
プラチナ未来スクールに関するご意見・ご質問は、下記事務局までお寄せください。

◆ロボット教室のお問合せ先

プラチナ未来スクール事務局(ネクスファ内)

メール:p-robo@next-ph.jp

電話04-7105-3419 ※平日13時~19時

詳しくはホームページをご覧ください。

Facebookページもございます。

<http://platinum-miraischool.jp/>

